



梅林堂

塩豆大福だより



1

令和4年
月号

「心を込めてお見送り」

新型コロナウイルス感染者数は日々低水準で経済活動も徐々にコロナ前に少しずつ戻り始めたようです。コロナ後に向け同業のお菓子屋さんがどの様なお菓子作りをしているのか勉強のために12月になってから東京・新潟・東北と他店を見学し勉強させていただきました。

コロナ禍によりそれぞれにかなりの影響を受けた中、兎に角先の見えない状況で無駄な支出をせぬようコストダウンを中心にお考えのお菓子屋さんがある一方、何かせねばと色々と新しいお菓子を出しているお菓子屋さんとは色々とありました。参考になるお菓子をたくさん買い込み車の中はお菓子だらけです。

東北地方のあるお菓子屋さんの本店にお邪魔しお菓子を色々見ていると、たまたまそのお菓子屋さんの社長さんがおられました。創業170年にならんとする全国的にも有名な老舗です。

以前から懇意にさせて頂いておりよく存じ上げておりましたので

「こんにちは。今日はお店にお邪魔し勉強させていただいております。ご連絡せず伺い申し訳ありません。」

このようにご挨拶し暫しコロナ禍の状況などお話しさせて頂き、恥ずかしいほどお菓子を買って帰るまでお店を出ました。ふと振り返ると、その社長さんが店頭まで出て来てくださり深々と頭を下げお見送りを頂きました。

「あっ！」これがほんとのお菓子作りの精神なのだ。この気持ちでお菓子を創らなければ、美味しいお菓子などできるわけがない。」

改めてそう痛感致した出来事でありました。

いよいよ

令和4年を迎えまた一つ新しい年が来ました。

こんな有難い出来事にまた一つ学ばせて頂いた幸せに感謝し美味しいお菓子作りにこれからも精進していきたく思います。

令和4年1月22日のお菓子は「七草大福」です。

昨年よりも美味しくするためにお客様の前で深々と頭を下げるが如く心を込めて色々と味の工夫をしたいと思っております。

株式会社梅林堂 代表取締役 栗原良太



このおいしさ もっともっと知ってほしいから

毎月22日は 塩豆大福の日

塩豆大福 2割引

当日限定 七草大福

今月の「塩豆大福の日」限定商品 4個入 640円(税込)

1月22日は塩豆大福の日

限定販売

七草大福

古代中国の文化「人日」と

「若草摘み」という日本古来の風習が結びつき

平安時代に「七草粥」が生まれました。

人日の節句には、七草粥を食べ邪気を祓い

新年の無病息災を祈願します。

梅林堂では、この風習に習い

七草大福をお作りいたします。

寒さの厳しい中でも大地に芽吹く七草を

お餅と合わせ、こし餡を包みました。



4個入 640円(税込)

“美味しい”は笑顔を作ります



梅林堂

〒360-0023 埼玉県熊谷市佐谷田 1000-1